

### 『食育』の取り組みについて

佐久間 儀 郎

〔質問〕『食育』は重要な行政課題と考える。以下の諸点を伺う。①教育長の基本姿勢と所信②教育現場での食育はどのようになされているのか③学校栄養職員の活用④学校給食の地場産品の利用状況、他の自治体比較での利用率⑤「教育ファーム」にどう取り組みか⑥食育推進プランの

食育推進協議会の構成と活動の実際⑦市民を巻き込んだ食育推進運動の手法

【その他の質問】

○学校給食費の問題について

①学校給食費の未納問題

②小学校給食費の無料化問題

### 本市名産白石温麺についての提案

菅 野 恭 子

〔質問〕本市名産の白石温麺は、健康的食文化として広く知られ、又伝統的地場産業として市民に就労の場を提供し、近年は観光誘客の要因ともなり、その役割は大きいと考える。このように多くの効果をもたらす温麺を守り、さらに育み発展させるためにも次の二点を提案する。

- ① 学校給食への積極的利用
- ② 「温麺デー」の設定

【その他の質問】

○子宮頸がん、ヒブ・小児用肺炎球菌等のワクチン接種助成、子宮頸がん・乳がん無料検診の継続、子宮頸がん予防の正しい知識の普及・HPV感染検診について

〔答弁〕【市長】◎白石市の食育推進協議会の委員は、医師会、歯科医師会、地域ボランティア、婦人団体、学校、幼稚園、保育園、農協、生協、県職員などから成る15名をお願いして、20年度から21年度にかけて検討いただき、白石市食育推進プランを策定した。

⑦既に実施されている食育に関するさまざまな取り組みがあることがわかり、それら個々の取り組みを、今後、市民の生活の中で連携させてい

○使用料・税等のコンビニ支払いについて

〔答弁〕【市長】温麺デーについては、現在、奥州白石温麺協同組合において、鈴木味右衛門さんの供養の会を年1回開催しているが、「将来的には、その日を温麺の日にできないか」という声も上がっている。今後、奥州白石温麺協同組合と連携をして、実現に向けて支援を行っていききたいと考えている。

【教育長】学校給食への温麺の利用は、現在も行っているが、今後さらに積極的に温

くことが、同じ目標に向けて展開していくものと期待をしている。

【教育長】①生きる上での基本が食であるというふうにご考えている。当然ながら、知育・徳育・体育というその柱のその下にあるもの、それが食育であるというふうにご思っている。

②給食の時間での指導、あるいは家庭科、総合学習等での教育、あるいは、学校栄養士の学校訪問時における食に対する指導、こういった場

面で取り組んでいる。

③現在、県費の学校栄養士が2名おり、すべての小中学校に学校訪問を行って、食育の指導を行っているところである。

④平成21年度調査では、県内産利用品目率が11.7%である。

⑤ほとんどの小学校で、畑を使つての農作物の作付、収穫をしている。また、白石第二小学校では、毎年、不忘の畜産農家に体験学習に行っている。



天ざるうーめん



組合各社のうーめん

麺の活用を図っていききたいと思つている。